

平成20年 4 月

建設経済委員会会議録

平成20年 4 月 8 日（火曜日）

午後 1 時53分から

午後 2 時15分まで

市役所 委員会室

◎出席委員（8名）

委員長	山 本 誠 君	副委員長	後 藤 幸 夫 君
	大 沢 秀 教 君		熊 澤 宏 信 君
	岡 覚 君		三 浦 知 里 君
	小 池 昭 夫 君		ビ ^レ アソキ アソニー 君

◎欠席委員（なし）

◎職務のため出席した事務局職員の職・氏名

統括主査 宮 島 照 美 君

◎説明のため出席した者の職・氏名

都市整備部長	河 村 敬 治 君	経済環境部長	鈴 木 英 明 君
水道部長	舟 橋 始 君	都市計画課長	河 村 清 君
建設課長	佐 々 由 高 君	維持管理課長	余 語 延 孝 君
建築課長	岡 田 和 明 君	建築課主幹	山 田 秀 雄 君

◎付託議案

第51号議案 平成20年度犬山市一般会計補正予算（第1号）

午後 1 時 53 分 開会

◎**山本委員長** ただいまの出席委員は 8 名全員でございます。定足数に達しておりますので直ちに建設経済委員会を開会いたします。

本委員会に付託されました案件は、付託議案一覧表に記載のとおり、第 51 号議案 平成 20 年度犬山市一般会計補正予算（第 1 号）であります。

第 51 号議案を議題といたします。

当局の説明を求めます。

岡田建築課長。

◎**岡田建築課長**（第 51 号議案説明）

◎**山本委員長** 説明は終わりました。

続いて、質疑を行います。

ご発言を求めます。

大沢委員。

◎**大沢委員** 質疑をさせていただきます。

3 月議会で本年度の予算承認をした直後、補正の議案ということで、今ご説明にもありましたように、建設資材の高騰が背景にあるということはもう明らかにわかるわけですが、今後の市場の動向次第では、さらなる高騰ということもまた考えられますし、またこれからいざ入札というふうに入ってくると、業者さんはもちろん、いろんな国際情勢なども含めてそういう市場の中の判断で工事金額というのを、向こうは向こうで考えてこられると思うんですが、こういった情勢の読みと、今後の建築工事のスケジュール次第で事業予算に莫大な影響が出てくると思うんですけど、今追加補正をするというのが、最善だというふうに判断をされた根拠をお示しいただきたい。

それと、今回、先ほど岡田課長、6 月に次の動きがあるというふうにおっしゃったんですけど、今回の補正後、どういうスケジュールでこれから工事請負業者の入札から工事というふうにスケジュールに入っていくのかを説明いただければと思います。

◎**山本委員長** 答弁を求めます。

岡田建築課長。

◎**岡田建築課長** それでは、どうして今の時期に補正をまずお願いするかということだと思いますが、建設資材につきましては、先回、3 月議会の休憩のときだったんですけども、ちょっとお話をさせていただきました。ここ 2 月、3 月、それから 3 月、4 月という中で、非常に高い推移を示しております。今後も、これがどこまで推移するかというのは、読めない状況でして、悪い材料として、今石炭の輸入価格がまた上がるのではないかとということで、これは多分、コークスの影響もありますので、鋼材関係に影響してくるというふうに思っています。市としましては、これからも上がる一方であろうというふうに想定をしておりますので、なるべく早い時期に発注することで、安い事業費で、安い事業費というふうな言い方はおかしいですけども、安価なうちで発注していきたいという思いがあって、今回補正をお願いをするということになっています。

6 月議会までどのようなスケジュールかというふうになりますけども、この補正をお認め

をいただければ、早い時期に入札公告、いわゆる工事を発注しますよという公告を示したいというふうに思ってます。大きい工事ですので、入札までにかなり時間を要します。あと、発注形態も特定建設JVみたいなものも市内の業者さんに入っていただく参画機会を設けるということで、ゼネコンさん単体と、特定JVみたいなことを考えてますので、そういう届け出も当然必要になってきますので、4月、この議会でお認めいただいた後に、すぐ入札公告を出したとしても、5月20日前後じゃないと入札の執行ができないというスケジュールになっております。

入札が完了すれば、すぐ仮契約をして、6月議会の当初に議案としてお示しができるということではないかなということもありますので、この時期。2点なるべく価格の安い時期に発注したいということと、6月の議会に間に合わせるためにこの時期に補正をお願いするという2点から今回お願いするということをご理解いただきたいと思います。

◎山本委員長 他に質疑は。

岡委員。

◎岡委員 3月議会で公契約法に基づいての契約ということをちょっと一般質問しましたけども、いわゆるそうした考え方や今後はそのときも紹介した政策契約という、安かろうというだけではないということが重要になってくるかなというふうに思ってるんですけども、それで今回、総事業費はこれであれですけども、契約を今まで、できるだけ分類して発注して契約してましたけど、7分類どんなふうに分類して発注しようとしているのかということと、そういう公契約法に基づくような考え方と政策契約的な考え方を持って挑めないかどうかということについてちょっとお聞きします。

◎山本委員長 答弁を求めます。

岡田建築課長。

◎岡田建築課長 まず、価格の話をする前に、以前、12月議会でも上村議員の方からオリンピック関連で鋼材が上がってないかというようなことがありまして、そのときに、何とかやっていきたいなということで思ってまして、予算を出す前までは、いわゆるいろんな方向でコストダウンができないかということを考えてました。スペックダウンであったりとか、発注方法を考えることによってコストダウンがまずできないかということをやってまいりました。その一つとして、まず一括契約ということです。今までですと、分割発注ということで、建築、それから配水だとか、電気だとか設備というふうに分けて発注するというのもやった物件があると思いますけども、一括発注することにやって、約3,000万円ぐらい経費として削減ができるということで、まずその方式でやっていきたいというふうに思いました。ですから、今回は一括で発注をしていきたいというふうに思っています。

それからもう一つは、総合評価みたいなものを取り入れたらどうだというお話だと思うんですけども、先ほども申しましたように、総合評価、これ愛知県からの説明会等も3月の中旬だったかに県の説明会もありましたけども、まだ市として方針がきちんとそろっておりません。それを待ってますと、多分夏とか秋という話になってまいりまして、この発注には、6月には間に合わないなという考えであります。

決して安かろう悪かろうということではなくて、まだこの基準の中で、適正な入札公告を

示す中で、それらを満たすような企業に対して応札を求めていくようなことを考えていきたいというふうに考えております。

◎山本委員長 岡委員。

◎岡委員 3月議会の答弁でも、今後の検討課題となってるんだから、入札の方法としては、指名競争入札と条件付き一般競争入札と一般競争入札とあると思うんですけども、どういう方法なのか、今の地元企業との契約についての条件が気にいらないかどうか、その辺をちょっと。

◎山本委員長 岡田建築課長。

◎岡田建築課長 本来、これは総務部の方でお答えいただく分かもしれませんが、やはり、先ほど言われましたように、安かろう悪かろうではいけませんで、ある程度の経歴なり条件をつけるということは必要になってくると思いますので、条件付きの一般競争入札でしていきたいというふうに思っています。

それから、市内業者の参画ということは、やはりこれはこちらから、市の方から門戸を閉ざすことはまずいと思っていますので、先ほど言いましたように入札に関しては、単独と、それから特定JV、市内業者と組んでいただくような建設企業体でも応札ができるようなシステムにしていきたいと思えますし、加えて、例えば下請をできる限り、下請を使う場合は見積もりを市内業者から取るようなことも条件につけていきたいなというふうに考えております。

◎山本委員長 他に質疑はございませんか。

熊澤委員。

◎熊澤委員 本当にこれで乗り切れるんですか。そんなインドは今どんどこのびてこよるし、これは設計業者と話をして、これだけでいけると踏んで予算を提示しただろうと思うけども、もうこれで追加してね、またやりかけたわ、6月でこれだけ足りませんでしたわなんて言えんで、そこら辺は、どこら辺まで設計引いた業者と、久米設計と世の中の流れは、今建築や何かはすべて確認申請が遅れてどんどんのびていくということでやっとなるけども、業者の方は早く確認申請をおろしてくれと、契約して待つうちにだんだん上がって行ってまうやないかと。だから、結局、大きいものだって一緒だと思うんです。だから、そこら辺を久米設計とあなたの方と、これでいけるという判断は踏んどるけれども、そこら辺の話はどこら辺まで詰めてやってきたのか、それだけちょっと聞きたい。

◎山本委員長 岡田建築課長。

◎岡田建築課長 冷や汗が出てくるような感じですが、こればかりは、上がり方が想定はつきません。頼りはやっぱり設計会社のノウハウを信頼するということは事実です。

大体の読みの中でどうだろうという話はさせていただいてますが、もう一方、将来を想定しての価格というのはとても入れるわけにいきませんので、なるべく最新のということで、今回の補正額についても、本当に4月1日まで待つて入れるというような状況です。4月1日に積算ができ上がって、入れてるというような状況でして、なるべく直近の額を入れることによって、そういうことが回避できかなというふうに思っています。

まずは、集まっていた業者、たくさんの応札希望者が寄っていただくということが、

まずそこから初めて競争が始まると思っておりますので、そのような考えの中で設計としては進めています。

ただ、応札者に対してどうだという問い合わせはしておりません。強いてできない状況だというふうに考えております。

◎山本委員長 暫時休憩します。

午後 2 時 09 分 休憩

再 開

午後 2 時 13 分 開議

◎山本委員長 休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

ほかに質疑はございませんか。

小池委員。

◎小池委員 先ほど、条件付き一般競争入札をするということでございましたが、JVを含めて、実際に参加してくれるのはどのぐらいだという予測を見込んでおるのか、入札に。と同時に、名古屋市なんかは入札参加がない件がかなりあったように聞いておるが、どんな予測を立てられるべきか、立てるべきかを考えてみえるかを、ちょっと聞かせてください。

◎山本委員長 暫時休憩いたします。

午後 2 時 13 分 休憩

+

再 開

午後 2 時 14 分 開議

◎山本委員長 休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声起こる〕

◎山本委員長 質疑なしと認め、第51号議案に対する質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

〔「なし」の声起こる〕

◎山本委員長 討論を省略することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

◎山本委員長 ご異議なしと認め、討論を省略いたします。

続いて、採決を行います。

第51号議案を採決いたします。本案は原案のとおりこれを可決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

+

◎山本委員長 ご異議なしと認めます。よって、第51号議案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました案件は、すべて議了いたしました。

これをもって委員会を閉じます。

午後2時15分 閉会

本委員会の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

建設経済委員長

+

+

+

本委員会に付託（送付）された事件及び審議結果				
議案番号	件名	付託(送付)年月日	審議結果	審査年月日
第51号議案	平成20年度犬山市一般会計補正予算 (第1号)	平20. 4. 8	原案可決 (全員一致)	平20. 4. 8

+